

589

381

特256

437

秘

×

複写

建
白
書



始



3
3

海南島を保障占領すべし

一 日支事変の終局目的は東洋の平和的
發展の基礎を確立するにあり



此の目的達成の爲めには蔣政權を徹底的に潰滅すべきは勿論
將來東洋の平和を害する虞れある禍根を一掃せざるべからず
蔣政權を潰滅すべき軍事行動はより機動的な能力と大軍増派の
積極集注的作戦に出で成し得る限りの短期間に一地方政權に轉
落せしめ後徐々に之を潰滅するの方策を講ずること肝要の計な
り



將來東洋の平和を侵害する虞ある元兇は北にソ聯南に英國あり
共に支那を前進舞臺として赤化工作乃至利權壟斷の擧に出で

支那と結んで極力日本の國力増進を阻碍し一は南侵の足場を造り一は植民地閉鎖防衛のバリケートたらしめんとすこれ實に日支協和を邪魔する最大の禍根にして英ソが現状を保持する限りに於て日支事變の一段落を告ぐるも將來尚ほ其策謀を繼續するものと見ざるべからず茲に東洋平和確立攪乱の禍因を包藏するものと謂ふべし

隨て今次事變の解決に當つては宜しく此の禍因を最小限度に抑壓し將來の策動を困難ならしめ彼等をして日支の立場に隨從するの已むなきに至らしめざるべからず

以上の前提の下に海南島保障占領の必要を痛感する次第なり

二 海南島の價值

(イ) 戰略的價值

同島は南支制壓上香港新嘉波を中斷し佛領印度支那を瞰制し蘭領印度を制壓し我が台湾と連絡して南方作戰上重要據点をなすは謂ふ迄もなし若し日本が其地に重要航空基地を設備し且つ派遣艦隊の泊地を修築せば英佛兩國の對日作戰は殆んど致命的打撃を蒙るに至り従て彼等の日本制壓の威嚇的言動を封じ支那をして日本依存の新生命に甦らしむるを得べし

斯くて英佛をして日本弱體化の支那工作の企圖を放棄せしめ延いて日本を主體とする新極東政策に轉向せしむるに至らん

(ロ) 通商交通上の價值

通商の消長が軍事的勢力の如何によつて左右せらるゝは今尚ほ昨の如し英米の今世紀に於ける世界經濟界を牛耳つゝあるは其尤大なる海軍力に恃むところあれはなり而して海南島に於ける日本の經濟的進出は我か南太平洋及印度洋に對する通商に多大の推進力を與ふるものにして其軍事的前進據点の獲得は一層其の傾向を増長せしむるものなるは言を俟たざる處なり且つ其位置か日本の世界的航空路開拓の要樞に當るを以て日本—台湾—暹羅—歐洲線に接續して茲に日本の航空路に一生命を與ふることゝなり更に其航路を南東に延伸せば蘭領印度線となり日蘭關係を一層密接ならしむるを得べし殊に此の航空路の開設か英の南方航空路の獨占的企劃を挫折せし

め新嘉波—香港—蘭印—濠洲線に依る南太平洋の制空權掌握の企圖に一大罅裂を生せしむることゝなり將來の作戰上に奇與する所甚大なり若夫れ同島の資源開發か日本人の勞資に依り營まるゝに至らば人的移出と熱帶開發の新たなる驗驗を修得する上に多大の貢獻をなすべし且つ其處に日本の儼然たる軍經兩様の據点を設定し日本對面廣貿易の直接取引を促進せば香港の經濟的價值を減削するも決して不可能ならざるべし斯くて香港の軍事的經濟的價值を逐次減削せば英國勢力の新嘉波後退は必然の結果となるに至らん斯くて英國の新嘉波後退は英國の植民地統治に新たなる煩累を加重し彼をして到底日本と事を構ふるの餘裕を與へざるに至るべし茲に東洋平和

攪乱の禍因を嚴封すること、なり明朗亜細亞の黎明を迎ふるを得べし

三 海南島占領方法

海南島占領の時機は日支紛争中何時にても結構なり只英佛等の外邊關係に於て速急ならざるを可としたる場合もありたり然し今日の事態に於ては可成速なる時機を選ふを可とすべし但し之か攻略には相當の準備と占領後の防備に關して相當の見透をなすを要す従つて其占領の時機は蒋介石の漢口放棄後遠からざる時機に敢行するを可とす而して蒋介石の爾後の行動か四川落か雲南落かに依つて多少の趣を異にすべし若し雲南落とすれば

香港海防線は依然蔣政權に對する軍資供給の基地なるべし宜しく早急に海南島攻略を行ふべし若し四川落とすればビルマ佛領印度は蔣政權援助の主要ルートたるの役目を行ふべし是亦同島占領の充分なる口實を提供すべし只蔣權の強化に對しては雲南落に比し多少の緩徐を見るべし熟れにしても我か軍事上の餘力を生ずる時機に於て之を敢行すべし

若し陸軍兵力の餘剰なき場合に於ては海軍独自の力を以て之か占領作戦を行ふべし之か為めには一二万の豫後備兵を召集し一ヶ月の特別陸戰隊教育を施し直に上陸作戦に従事せしむべし若し夫れ機材の不足を告ぐる場合に於ては陸軍器材の補給を仰くも可なるべし斯くて同島東西南北の必要なる要樞（新英、清瀾

新村、北黎、海口、榆村等皆海岸にあり）を占領して海空兩面の警備を以てせば其の守備必すしも陸軍の協力を要せざるべし而して占領軍は直に航空基地の整備構築へ日本人夫若干及び土民使用に着手し有力なる航空隊の設置と共に逐次他の要衝を占領する方法に出ずれば假令地廣くとも又大陸と接觸する地形にありと雖其の都市と稱するものも概ね海岸の一部落に過ぎざるものなれば比較的小数の陸上部隊と海上兵力の制壓とに依つて充分治安の維持を確保し得べく又大陸よりする來襲の如きは海空兩方面より充分睨殺し得べし若し夫れ英佛の威嚇的策謀の如きに至つては只之を黙殺すれば足る

四 日支事變の終結と保障占領

日支事變か如何なる方法に依り終結するにせよ親日防共の新政權を對象として和平工作に出すべきことは我か一月聲明に依つて瞭なる所なり従つて第三國の國民政府を相手とする和平調停の如きは只一蹴あるのみ然るに日支の間に於て假令和協の形式を整へ得るに至つても今後数年乃至十数年に亘つて抗日意識を拂拭すること困難なるべく又其間の消息に通ずる諸列國は是等抗日分子間に暗躍して再び日支の紛争を企圖することもあり得べく殊に英米等の大軍備擴張の完成時機の近づくに連れて再び鬼面支那を踊らすことあるを豫期せざるべからず又これと同

時に歐洲政局の小康を保つに至らば英國の積極的東洋進出も稍
や具體化するに至るやも計り難し

以上の見地より海南島保障占領は今後の支那並に列強の動向
を見極むる迄の時期に於て緊切なる要務たるのみならず南方に
於ける英佛等の妄動か繼續する限りに於ては日本の東亞安定の
大使命遂行上之か永久占領亦必要とならざるを得ず熟れにして
も海南島を日本の勢力下に置くの必要なるは絶対なり

昭和十三年七月 日

大陸經倫同志會(澁谷區千駄ヶ谷 二丁目五六二番地)内

執筆 者

海軍少將 匝 瑳 胤 次

世 話 役

陸軍中將 奥 平 俊 藏

海軍少將 福 田 一 郎

衆議院議員 北 吟 吉

同 岡 野 龍 一

元衆議院議員 高 倉 寛

前衆議院議員 綾 川 武 治

華文『大和』主幹 小 山 田 劍 南

責任者 北 吟 吉

終

4
2